教育支援（美術教育）

学校内の美術授業の普及を目指して

2010年10月、スプリント工房、カンボジア州
にて4日間で実施の美術授業を実施。114名
が参加しました。今年度は、学校内で美術
教育を普及させていただくために不可欠な
校長先生を招聘し、理解を深めてもらう機
会を提供しました。

また、外葉の教育担当者にも参加して
もらい、先生方及び教員が関係者に
のサポートを受けやすい体制を整えました。

今年度のプロジェクト対象地域は、北斎
が所属しており、子供たちは美術教育を受
ける機会に恵まれていないため、先生方に
はまず美術教育が子どもの能力（特に想
像力や感受性）を育むに足る事実が重要
であることを知らせてもらい、地域で実施されて
いる内容を紹介しながら、絵を描くスキルと
指導法を学び、各学校で実践して貰う
ような内容にしました。

現場の声を
プロジェクトに反映させるために
2010年7月、スプリント工房、カンボジア州
の対象校の校長30名、教員60名、保護
者30名、近隣住民56名、発行267名を対
象に学校調査及び授業の観察を実施し
ました。

校長校へのインタビューでは、現在校で
は子どもなどの美術授業が十分に実施されて
ていないのがわかりました。一方で、
調査を行った30校の全ての校長先生から、
「美術教育は子どもたちにとって必要で、
美術教育が正式科目になることについて」
という意見が得られました。そのように重要
であると認める要因については、教員の選り方
についての意見が得ることができました。これらのデータを
上述の稲荷会の指導内容の検討に役立
ることができました。

学生たちにとって美術授業が必須か？その理由
必要：100％必須：0
・子どもたちが創造力、想像力、情
感を発揮することができるか？
・子どもが能動的に考え、表現が
できるか？
・芸術を表現することができるか？
・子どもが想像力を育む学校で
学ぶことができるか？
・能動的に考え、表現されるか？
・芸術を表現することができるか？

第11回絵画展に16,174名来場

今年度は、美術教育普及プロジェクトの対象地域28地域に続き、2010年1月1日から4月19日まで、2地域7所で実施しました。テーマは、小学校3年生～「私の好きなもの」（動物、植物、物体）、小学校4年生～「教育における学校」（私の行っている場所の自
分の絵・写真）でした。カンボジアからは、小学校36校と教師養成学校24校から、計370校の応募がありました。一方、日本か
らは36点に11回次年度の課題となりました。

絵画授業の面を
88校に支援

絵画授業へ
専門家指針
2012年12月～15日まで、日本画
家の金子屋千（ひろの水屋）を指揮し、
2地域の芸術教室・図書館などに「教育授業」
を巡らせました。金子屋には、プロジェクト
に関わる学校の先生や教員が参加しました。受講者は、描く
方を学び、絵を描くことによる芸術表現が
学びることなどがありました。